

島根県 妙好人を訪ねて

教区仏婦連盟 前田厚子委員長

私たちが兵庫教区仏婦人会連盟は、去る、十月二十三日～二十四日、一泊二日の研修旅行に出かけました。

一日目、小雨降る中、神戸別院を朝八時半出発し姫路駅南口で待つている仲間とあわせて二十九名で行きました。私は、当日までその日のご縁を楽しみにして、何方が参加されるかは聞かずに参りました。

バスは、ベテランガイドさんに誘導されているかのようひたすら、岡山、鳥取、早めの秋を探し、雨模様で見えない大山、蒜山高原を想像しながら島根へと向かいました。

楽しみの昼食は、米子から少し鳥取よりの淀江にて『どんぐりうどん膳』をいただいた。どんぐりの渋みを口の中に残し、バスは、ひたすら山陰道(安来道路)を一時間半、

ること、先人のご苦労を思うこととございました。小雨降る夕昏、今夜のお宿、玉造温泉「ホテル玉泉」へひた走りです。

六時、ホテルに着くなり温泉へ直行、冷えた身体を温め、ほつとひと息、七時からは、夕食懇親会です。近しい人との交流、おいしいご馳走をお腹いっぱい戴き、もう、そろそろかなと思つたときタイムングよく添乗員さんがカラオケの準備をはり始められました。時間の都合も在りませ、下手な私から歌えば皆さんが歌い易いのではないかとと思いつくを切らせて頂きました。



山陰教堂にて

一人笑いをしてしました。二日目、二十四日はホテルを八時に出発致しました。この旅の本命でありました。「妙好人さんを尋ねて」。始めに、温泉津温泉の近くにあり温泉温泉津組安楽寺をお訪ね致しました。此処は浅原才市さんのお寺です。才市さんは沢山のご法義の詩をつづられています。「かぜひけば、せきがでるさうじやない おがまれて下さる如来様」とかく仏様・如来様を拜むのが信心だと決めたがる私たちですが、阿弥陀様は違うのだよ。拜みとうす事の出来ない私の身になって、暖かいお慈悲の中に包み込み、いつの間にか、拜まずにおられなくなっていく自分の姿に気づき、お念仏を聞く喜びを教えた善太郎さんです。とご住職様よりお聴きいたしました。光現寺様で草もちとお茶をいただき、草もちのおいわれである『草もち説法』も聞かせていただきました。

真宗連盟講演会

別院を会場に

十月十八日、神戸別院を会場に『真宗講演会』(主催/神戸真宗連盟)が開催された。

神戸真宗連盟は、神戸市内の真宗教団連合各派の寺院百四十八カ寺の連合体であり、真宗連盟連合体としては唯一具体的

な活動を行っている団体である。春には神戸文化ホールにて『報恩まつり』を、秋には神戸別院にて『真宗講演会』を開催している。



穏やかに話された(白川師)

今回で二十六回目となる本講演会は、白川晴顕師(中央仏教学院学院長・安芸教区豊田東組専教寺)を講師にお迎えし、別院のホールに百名を超える参加を頂いての開催となった。会は真宗宗歌の斉唱、楠誓也師(連盟理事長/神戸湊組廣福寺)の挨拶の後、講演となった。講演では、白川師が学院長を勤められている「中央仏教学院」での様々な話を交えながら、『浄土真宗の教えと目覚め』との講題でお話をいただいた。「目覚めを抜きにして、浄土真宗の利益・功德は無い。本物がわからなかつたら偽物さえも区別がつかない。本物の物が見方が知らされ

る中に、自分が今まで正しいと思つていた見方が間違っていたと知らされる。仏様の本当の見方が知らされる中に、目覚めさせられるということが言える。」

「信心が備わると、こちらの方から求めなくても知らないうちに、素晴らしい功德・利益が得られていくと親鸞さまがおっしゃられた事は、信心が備わった人は本物の物の見方が知らされて、優劣・善悪・損得を交えた見方がいかに虚しい見方であるか、ということもわかってくる。

「目覚めを抜きにして、浄土真宗の利益・功德は無い。本物がわからなかつたら偽物さえも区別がつかない。本物の物が見方が知らされ

部落問題を学ぶ

寺婦が本山にて研修

十一月七日から一泊二日の日程で『近畿同朋運動推進協議会 寺族女性研修会』が、本願寺伝道本部を会場に行われ、兵庫からは役員を中心に五十名が参加した。

本研修会は、第三連区の寺族女性を対象に毎年行われるもので、今回は兵庫教区が担当しての開催となった。

初日の研修では、テーマとした分散会と



研修を受ける第3連区寺婦会員(本山伝道本部)

マを『親鸞さまと歩む道』とし、講師に星野勇悟氏(部落差別学習性研修会)が、本願寺伝道本部を会場に行われ、ま、自分が、ここで部落問題学習をするというところとして研修を行った。講義の後には「一番大切な人や身近な人と語り合う部落問題」をテーマとした分散会と

組長会開かれる



活発な協議が行われた(組長会)

十一月九日、平成二十四年度第二回目となる組長会が開催された。

本会では、本年十二月～来年一月末日を期間とする『ブロック別公聴会』の実施に向けての協議が行われた。公聴会の日程の決定に伴い、内容に関して①教区独自の重点プロジェクト(実践運動)について②普通門徒講金から第四種賦課金への変更に伴う